５年古典（古文）　説話プリント②

Ⅰ「小式部内侍が大江山の歌の事」(『古今著聞集』) 教科書８～９ページ

①定頼はふざけてどのようなことを言い，小式部内侍をからかったのか。

※「たはぶれ（名詞)」の本文での意味は「冗談・ふざけること。」

（　　）

②小式部内侍の和歌には，定頼へのどのようなメッセージが込められているか。

（　　）

③定頼が小式部内侍に和歌を返すことができず，逃げたのはなぜか。

（　　）

④古文で用いられる助動詞「る」「らる」は現代語の「れる」「られる」にあたり,「自発」「可能」「受身」「尊敬」の意味で使います。教科書 262 ページ参照。

次のⒶ～Ⓒについて答えよう！

1　小式部内侍、歌よみにとらⒶれてよみけるを　Ⓐ【　　】

2　局の前を過ぎⒷられけるを、　Ⓑ【　　】

3　袖をひきはなちて逃げⒸられにけり。　Ⓒ【　　】

Ⅱ「歌ゆゑに命を失ふ事」(『沙石集』) 教科書 10～11 ページ

★古語辞典でキーワードを調べよう。

・まだき（副詞）
・こそ（係助詞）
・つつむ（動詞）
・や（係助詞）
・～わづらふ（動詞）
・心憂し（形容詞）
・とぶらふ（動詞）
・おぼゆ（動詞）
・みまかる（動詞）
・侍り（動詞）
・よしなし（形容詞）

①助動詞「き」は本文のどこで用いられているだろうか。抜き出してみよう。

教科書 262 ページ参照。